

7/31 に開催された住民参加部会作業部会(第1回展開班)  
での河川管理者への質問に対する回答

<目次>

- ・防災ステーション …………… 1
- ・「淀川大堰閘門検討委員会」「淀川舟運研究会」 …… 4

## ◆防災ステーション

河川管理の心臓部 防災ステーション

### ●内容及び仕組みについて

近年、人口、資産等の河川氾濫区域内への集積が進むとともに、住民の自然災害に対する意識も稀薄になってきていることから、洪水により破堤した場合には、大規模な氾濫により多くの人命、財産が失われる危険性が高まっている。また、閉鎖型氾濫区域においては、いったん破堤により浸水した場合、長期間水が引かないために効率的な緊急復旧活動等が阻まれ、地域の社会経済に壊滅的な被害をもたらす恐れがある。

一方、治水施設の整備水準は依然として低く、また、完成した治水施設も限られた範囲の安全度を有しているに過ぎず、大水害が発生する危険性は常に内在している。

このような状況から、洪水時における円滑かつ効果的な河川管理施設の保全活動や災害時の緊急復旧活動を実施するための拠点を整備するもの。

また、水防法に基づき洪水または高潮に際し、水災を警戒し、防御し、及びこれに因る被害を軽減するため水防活動が行われることになっているものであるが、水防に関する第一次的責任を有する市町村等（水防事務組合等）も水防活動を円滑に行うための拠点が必要となる

河川管理者の行う基盤整備、備蓄資器材の置き場・ヘリポート・車両交換等の拠点整備と、市町村等が水防活動を円滑に行う拠点としての水防センター（水防活動の現場司令室、水防資材を備蓄する水防倉庫、水防団員の待機及び休憩室等の機能を有する施設）を災害時のために一体的に整備したものを通常、河川防災ステーションといっています。また、日常時には市町村等が地域防災訓練や地域の活動・研修等に使用します。

なお河川管理者は、水防活動のための備蓄資器材の置き場・ヘリポート・車両交換場所等の基盤整備を行います。水防センター（水防活動の現場司令室、水防資材を備蓄する水防倉庫、水防団員の待機及び休憩室等の機能を有する施設）は、市町村が整備することとなっております。

また、平常時には市町村等が、地域の活動や研修等の活動の場として使用することとなり、平常時の管理は、河川管理者と協定を行い市町村が行うこととなっております。

### ●新たな使用について

防災以外の新たな利用に当たっては、管理している市町村との協議が必要です。

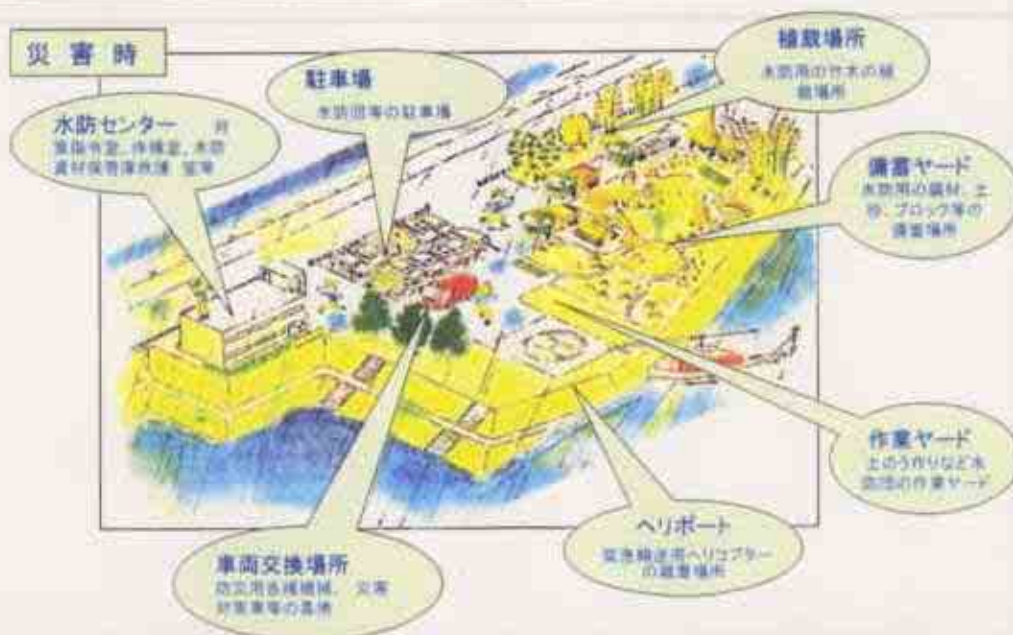
## ●防災ステーション

(主に河川管理者)

○洪水時等における円滑かつ効果的な河川管理施設の保全活動及び緊急復旧活動を行う拠点

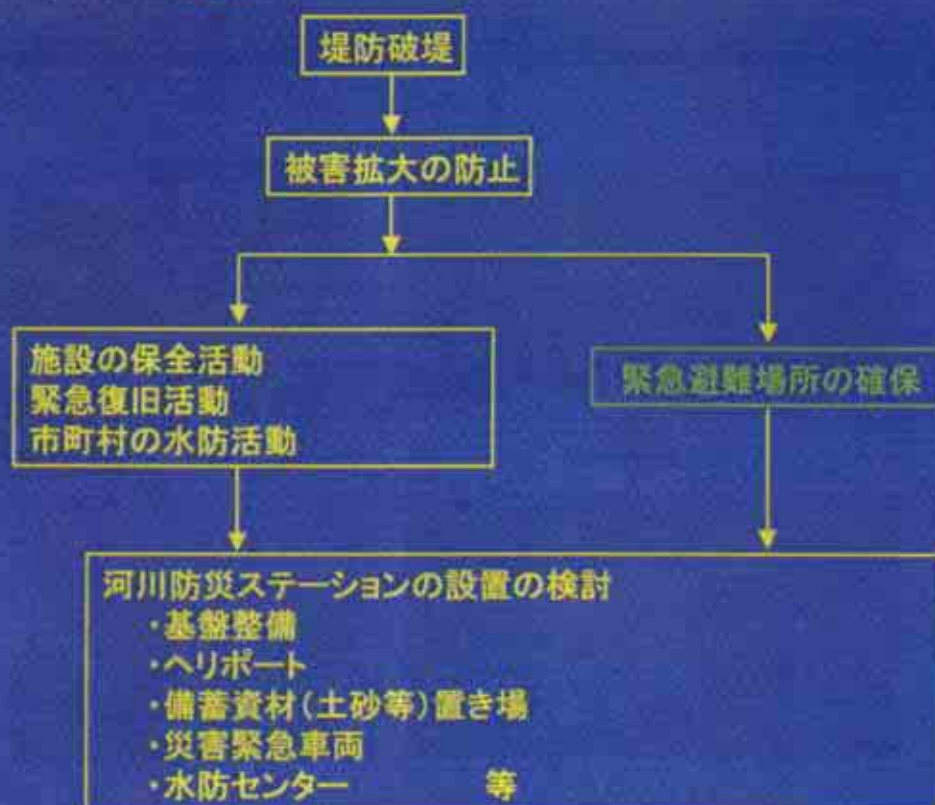
(主に市町村)

○市町村等の水防活動を円滑に行う拠点





## ●防災ステーションの整備



## 一級河川 加古川水系 (兵庫県 加古川市)

★ 河川防災ステーションと加古川市の防災センターを共同で整備した。

平常時には市民等への防災知識・技術などの意識啓発の拠点として、安全で安心なまちづくりのため、市民・事業者・消防職団員などが協同して総合的な防災対応能力を図っていく防災教育訓練の中核拠点として機能しており、また、防災や河川の情報等の広報利用を行っている。

## 一級河川 揖保川水系 (兵庫県 龍野市 龍野町)

★ 龍野市の文化「赤とんぼ文化ホール」と「揖保川ふれあい水防センター」の複合施設としての龍野市総合文化会館と河川防災ステーションを共同整備したものである。

平常時には、「赤とんぼ文化ホール」が文化の拠点施設として活用されており、また、複合施設の揖保川ふれあい水防センターでは、防災や河川の情報等の広報利用を行っている。

## 一級河川 加古川水系 (兵庫県 加古川市)

整備前



整備後



利用状況

## 一級河川 揖保川水系 (兵庫県 龍野市 龍野町)

整備前



整備後

龍野市総合文化会館



利用状況



